

令和2年度第1回沖縄県土木建築部

道路管理課及び都市計画・モノレール課の公の施設に係る指定管理者制度運用委員会 モニタリング 検証結果(抜粋)

1 開催日時 令和2年7月20日(月)午後2時00分～午後3時05分

2 開催場所 県庁11階第1会議室

3 委員出席状況 全員出席

委員 琉球大学工学部工学科 准教授 神谷 大介

委員 西里恵里紗税理士事務所 税理士 西里 恵里紗

委員 株式会社泉設計 代表取締役社長 當間 卓

委員 (株)リウボウインダストリー 総務部長 八幡 辰弥

委員 沖縄都市モノレール(株) 総務部総務課長 我那覇 和代

4 議題 令和元年度指定管理者モニタリング実施結果の検証について

①県民広場地下駐車場

②てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場

5 検証内容

(1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適切になされているか

(2) 指定管理者に対する県の指導・助言等は適切に行われているか

(3) アンケートや苦情等に対する対応は適切か

6 検証方法

(1) 所管課からモニタリング実施結果の報告

(2) 委員からの質疑応答、意見等

7 審議内容

<てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場>

(委員)P&Rは渋滞緩和など期待しているところであるが、実際、駐車場の効果はどうか。

A. 営業開始からまだ半年のため、目に見える効果を確認することは難しい。設置の際には、収容台数1000台の往復2000台の車が市街地に入らないことによる効果が期待されているが、現在の定期駐車利用の契約数が350～400台、約1／3程度となっている。今後、利用者確保に努めることによって、交通渋滞の緩和に寄与ができるのではと考えている。

(委員)指定管理料はどうやって決まるか。今後収益が増えると指定管理料は無くなるのか。

A. 収支見込みを算定し、指定管理料を決定して公募をおこなった。今回の指定管理期間終了R3までに稼働率を100%まであげた上で、その後は収入でもって、運営費を賄うような形を予定している。

(委員) 駐車場効果の調査は今後あるか。

A. 現時点で具体的な調査計画はない。

(委員) 購入時のアンケートなどで、以前の交通手段を確認すれば効果が把握できるのでは。

A. 次回、アンケート項目に追加したい。

(委員) 金庫への保管、管理はどうなっているか。

A. 常勤の統括責任者が、管理室内に設置しているダイヤル式金庫に保管管理を行っている。

(委員) 今後、電子マネーやクレジット決済の対応は検討しているか。

A. 現在是对应していない。現金のみ。アンケートにもあるとおり、利用者からの要望も多く、また指定管理者も対応したいと相談は受けているが、条例や国庫補助の関係で直ちに対応することができない。今後検討したい。

(委員) 空港利用の際に、駐車場を利用しているが、現金のみの取り扱いとなっていた。利用者要望にもあがっているので、是非対応を検討して頂きたい。

(委員) 手数料負担もあるので、いろいろな課題がある。

(委員) 精算機の機械の耐用年数はどれくらいか。

A. 今年度、てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場の長期修繕計画を策定する予定となっているので、あわせて確認したい。

(委員) 幸地ICや駐車場周辺の整備が遅れていると聞いているが、いかがか。将来の需要予測にも関わる。次年度予定されている指定管理者募集にあたっては、周辺整備の見通しも含めて情報を提示しないと、応募者も計画が立てづらいのでは。

A. 幸地ICについては、4, 5年遅れる見通し。周辺の整備計画についても情報収集し、提供できるようにしたい。

(委員) 将来的に増設の余地もあるか。

A. 現在の992台が最大収容台数のため、増設はできない。周辺整備が整ってくると一般の駐車場も増えるのではないかと考えている。